

防災落語「セロ弾きのゴーシュ」公演の感想

花巻市立南城小学校 6年生の皆さん

○今日、賢治の世界セミナーがありました。落語家の川柳つくしさんとチェリストの宮尾悠さんが来てくださいました。

私が心に残ったことが二つあります。

一つ目は、落語家の人です。セロ弾きのゴーシュにでているゴーシュや動物たちの声、チェロの音を役によって、声を変えて表現力を生かしているのがすごいと思いました。

二つ目は、チェリストの人です。ゴーシュは、最初は下手だったのでチェロの音ははずしてどんどん上手になるにつれて、チェロを上達させていて表現力がすごかったです。後、最後の曲で、つくしさんが退場した時、悠さんが自分の実力で上手にひいてくれてすごいと思いました。また、こういう機会があったら、見たいと思いました。

○私は、賢治の世界セミナーで、さすがだなあと思ったことが二つあります。一つ目は、落語家のつくし師匠の表現力です。一人で「ゴーシュ」「たぬき」「ねこ」「鳥」など全ての登場人物の声を出していて、「さすがだなあ」と思いました。また、声だけでなく、少し手を加えて身ぶり手ぶりもあり、とても分かりやすかったです。

二つ目は、チェロ奏者の宮尾さんです。ゴーシュが、まだチェロをひくのがうまくなかった場面では、わざとまちがえて演奏したり、たぬきやねこ、鳥がゴーシュの所にたずねてくる場面では、少しずつ上手にチェロをひいたりしていたところが「プロの演奏家はすごいなあ。」と思いました。

本当に楽しい会でした。今度「セロ弾きのゴーシュ」以外の作品も見たいです。

○6月16日に体育館で防災落語「セロ弾きのゴーシュ」がありました。落語を見せてくださったのは、川柳つくしさんでした。チェロを弾いてくださったのは、宮尾悠さんでした。落語とチェロがあわさるのはめったにないことなので、うれしかったです。最初の場面で宮尾さんがわざとチェロの音をずらして下手に演奏しているのにびっくりしました。「セロ弾きのゴーシュ」は本で読んだことがあるけど、ちがった内容だったのでおもしろかったです。チェロも迫力があってきれいな音でした。チェロの音を初めて生で聞いたのでよかったです。つくしさんが落語を話しているときに、役に分けて、ふりつけや、声を変えていたのでよかったです。生で落語を聞いたのでうれしかったです。楽しい会だったのでよかったです。

○私は、防災落語「セロ弾きのゴーシュ」を観て、つくし師匠が一人でたくさんの役を声を高くしたり、低くしたりして言い方を変えていておもしろかったです。それを宮尾悠さんがチェロで上手に合わせていてすごいなあと思いました。前から、セロ弾きのゴーシュの内容は知ってたけど、落語とチェロで分かりやすくおもしろかったので真げんに聞いていました。私は落語を聞いたことがなくて今日初めて聞いておもしろいと思いました。次こういう機会があったらもう一度聞きたいです。

私は、宮沢賢治先生の童話が好きで今日の「賢治の世界セミナー」を楽しみにしていました。今日このような機会は少ないのでうれしかったです。今日のためにオリジナルの作品にしてくださいありがとうございます。チェロもさまざまな弾き方があって、音が体育館中にひびいていて、気持ち良かったです。



司会：フジタマコト    チェロ奏者：宮尾 悠    落語家：川柳つくし